

教務部通信

教員用

令和元年6月20日
北海道高等学校
教務部

平成31年3月8日に1年生(現2年生)対象に実施しました平成30年度「北海道高等学校学力向上実践事業」学力テスト及び北海道高等学校学習状況調査の結果が届きました。本校生徒の学習状況及び平成28年～30年の各教科のデータを掲載しますので、各教科で検証し、今後の教科指導にご活用下さい。

1 各教科の年度別正答率の比較

(1)国語

年度	大問	小問	大項目	中項目	出題のねらい	全道平均正答率			本校平均正答率			
						100	100	100	100	100	100	
1	1	1	1	1	1	80	89.2	88.0	89.2	85.9	83.8	
						80	84.7	86.8	87.8	58.5	40.9	73.5
						80	88.5	88.9	88.8	84.9	80.3	80.9
						80	84.1	84.9	84.7	39.2	54.9	54.4
						70	84.8	83.6	84.3	45.9	82.4	47.1
						70	53.6	54.2	53.7	51.4	38.4	48.5
						85	88.0	88.0	88.0	84.9	74.6	72.1
						80	45.7	42.1	41.0	40.5	43.7	35.3
						80	87.1	86.4	86.1	83.8	74.6	88.9
						70	92.3	91.2	90.9	85.4	84.5	84.1
						70	87.6	88.5	88.5	84.9	80.6	87.4
						70	51.2	52.4	49.3	37.8	43.7	44.5
						70	34.5	33.1	33.5	17.6	18.7	32.4
						70	21.0	19.4	18.6	13.5	11.3	19.1
						70	50.8	51.2	48.9	29.7	45.1	42.6
						50	27.9	28.7	28.4	12.2	15.5	22.1
						50	36.0	37.5	37.2	27.0	35.8	33.8
						60	37.0	38.1	25.4	25.7	21.1	18.1
						50	60.2	55.6	65.0	52.7	53.9	52.9
						40	29.5	29.1	28.6	20.3	23.5	24.5
						50	49.4	48.8	50.0	43.2	34.0	50.0

現2年生は語句の意味、語彙力に課題があり、小説の心情理解の能力に欠けています。また観点別・領域別ともに過去2年と比較して全道平均の差を縮めており、年々学力が向上していき

観点別	読む能力	知識・理解	C 読むこと
100	62.2	62.1	50.2
100	48.8	48.8	41.4
100	62.2	62.1	50.2
100	48.8	48.8	41.4

(2)数学

年度	大問	小問	大項目	中項目	出題のねらい	全道平均正答率			本校平均正答率			
						100	100	100	100	100	100	
1	1	1	1	1	1	75	77.7	77.6	74.6	61.5	47.8	
						70	25.3	25.8	28.2	5.1	1.5	7.5
						70	23.1	24.1	26.7	3.8	1.5	7.5
						70	35.3	36.9	32.5	1.3	4.5	6.0
						50	43.7	41.9	41.7	3.8	10.4	14.9
						80	10.7	10.5	10.2	0.0	1.6	1.5
						40	5.6	7.3	6.0	1.3	0.0	0.0
						75	70.7	55.2	67.2	56.0	56.7	50.7
						80	20.3	21.6	20.3	3.8	1.5	3.0
						40	10.4	11.5	10.8	0.0	0.0	0.0
						40	8.9	10.3	9.4	0.0	0.0	0.0
						50	58.7	58.9	57.8	42.3	7.3	32.8
						50	16.6	17.7	17.1	9.0	9.0	6.0
						50	2.2	3.2	2.8	1.3	1.5	1.5
						40	44.9	43.7	43.3	30.8	29.9	43.3
						40	2.4	3.0	3.3	0.0	0.0	0.0

数学Iの「分母の有理化の理解」が全道平均正答率を3ポイント上回るなど、数Iの「数と式」の領域の学力が著進しています。一方「二次関数」においては、過去2年より正答率が微増しているものの-27ポイントの差が出ています。ただ、関心・意欲・数学的な見方・数学的技術・知識・理解の4観点全てで上昇しており、粘り強い指導が成果につながっていると考えられます。

年度	大項目	中項目	出題のねらい	評価の観点	全道平均正答率			本校平均正答率		
					100	100	100	100	100	100
1	1	1	1	1	69.1	66.9	66.5	0.0	48.3	53.7
					15.4	15.8	15.9	0.0	2.5	4.2
1	1	1	1	1	20.3	21.0	20.8	0.0	8.1	11.3
					27.8	29.3	26.4	0.0	3.0	4.5
1	1	1	1	1	42.0	42.5	43.2	23.5	16.9	30.8
					23.9	24.1	22.6	1.6	4.1	5.6
1	1	1	1	1	27.6	27.4	26.9	13.5	15.3	13.4
					25.0	25.1	24.9	16.7	15.5	16.7

関心・意欲・態度
数学的な見方や考え方
数学的な技能
知識・理解
数学I
(1)数と式
数学I
(2)二次関数
数学I・A
(2)図形の性質
(2)図形と計量
数学A
(1)場合の数と確率

(3)英語

問題番号	学習指導要領の内容		出題のねらい	評価の観点 知識・理解 読解の能力 態度・態度	目標 正答率			全学年 正答率			本校平均 正答率				
	大項目	中項目			H28	H29	H30	H28	H29	H30	H28	H29	H30		
1	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	1 聞くこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて理解する	70	92.3	91.8	91.5	97.4	89.1	92.6	
					2 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて理解する	70	94.6	94.1	95.1	95.1	96.9	91.2	
					3 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて理解する	70	85.6	84.7	85.1	85.1	87.2	73.5	
					4 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて理解する	70	51.8	52.7	55.7	55.7	57.3	40.6	39.7
					5 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて理解する	70	47.3	47.5	48.8	48.1	46.9	33.8	
2	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	6 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて詳細を理解する	70	81.0	82.4	82.7	87.5	71.9	74.1	
					7 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて詳細を理解する	70	88.3	88.4	88.7	85.3	81.3	79.4	
					8 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて詳細を理解する	70	73.3	74.8	74.7	82.3	64.1	70.6	
					9 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて詳細を理解する	70	77.8	78.1	77.8	85.2	62.5	64.7	
					10 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて詳細を理解する	70	68.5	67.4	67.3	63.6	57.8	66.2	
3	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	11 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて概要・要点を理解する	70	76.6	77.0	74.8	86.2	78.1	70.6	
					12 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて概要・要点を理解する	70	62.9	63.7	63.8	45.5	60.9	52.0	
					13 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて概要・要点を理解する	70	75.6	76.3	76.7	68.8	70.3	75.0	
					14 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて概要・要点を理解する	70	71.0	70.4	71.1	46.8	46.9	50.0	
					15 読むこと	2-(1)-7	英語の説明を聞いて概要・要点を理解する	70	36.2	35.1	35.7	32.5	29.7	34.2	
4	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	16 読むこと	2-(1)-7	英語の内容を理解する	60	48.1	47.7	47.1	40.3	32.8	38.2	
					17 読むこと	2-(1)-7	英語の内容を理解する	60	67.3	66.7	64.2	62.3	48.4	48.5	
					18 読むこと	2-(1)-7	英語の内容を理解する	60	62.6	63.3	66.0	55.8	48.4	58.8	
					19 読むこと	2-(1)-7	英語の内容を理解する	60	89.7	89.7	90.1	81.8	76.6	85.3	
					20 読むこと	2-(1)-7	英語の内容を理解する	60	91.3	90.3	90.5	79.2	81.3	75.0	
5	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	21 読むこと	2-(1)-7	メール文の内容を理解する	60	60.8	61.5	61.8	64.5	45.3	51.5	
					22 読むこと	2-(1)-7	メール文の内容を理解する	60	51.3	51.2	49.5	33.8	43.8	38.2	
					23 読むこと	2-(1)-7	メール文の内容を理解する	60	63.2	63.1	63.7	51.9	57.8	58.6	
					24 読むこと	2-(1)-7	メール文の内容を理解する	60	66.0	65.9	66.1	61.0	62.5	54.4	
					25 読むこと	2-(1)-7	メール文の内容を理解する	60	39.0	37.7	38.8	33.8	35.9	29.4	
6(1)	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	26 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	55.6	56.3	57.2	44.2	48.4	48.5	
					27 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	40.1	42.2	43.4	24.6	32.8	32.4	
					28 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	39.5	41.3	42.0	31.2	43.8	35.3	
					29 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	37.8	39.5	39.7	35.1	34.4	29.4	
					30 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	55.8	54.7	55.7	39.0	45.3	44.1	
6(2)	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	31 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	42.4	42.3	44.6	29.9	31.3	32.4	
					32 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	38.0	37.9	39.6	24.7	32.8	33.8	
					33 読むこと	2-(1)-7	まとまった量の英文の内容を理解する	60	57.4	55.9	59.2	42.9	43.8	57.4	
					34 読むこと	2-(1)-7	内容を考え英語で書く	60	6.5	9.2	11.8	0.0	3.1	4.4	
					No.1	35 話すこと	2-(1)-ウ	構構を基に、その内容について英語で話す	70	18.0	16.5	24.7	0.0	0.0	0.0
8	読し 書け	中項目	出題のねらい	○	No.2	36 話すこと	2-(1)-ウ	自分の意見を英語で話す	70	11.9	8.0	14.7	0.0	0.0	
					No.3	37 話すこと	2-(1)-ウ	自分の意見を英語で話す	70	11.2	7.4	14.3	0.0	0.0	

観点別	H28	H29	H30	H28	H29	H30
関心・意欲・態度	9.3	9.8	14.3	0.0	3.1	4.4
表現の能力	8.0	8.6	12.7	0.0	3.1	4.4
理解の能力	61.8	61.1	62.3	0.0	54.9	55.2
知識・理解	8.0	8.6	12.7	0.0	3.1	4.4
聞くこと	70.9	71.0	71.2	62.4	64.3	64.7
読むこと	55.9	56.0	56.6	46.1	47.0	47.3
書くこと	6.5	9.2	11.8	0.0	3.1	4.4
話すこと	13.7	10.3	17.9	0.0	0.0	0.0

全道の平均からみると本校の生徒の英語に対する興味・関心が低いことがわかります。しかし、現2年生は関心意欲が前年度より増えており、過去2年と比較して全ての観点・領域でポイントが上昇しています。また、特微的な点として、経年比較において現2年生が最高値ですが、その数値はほぼ横ばいで大きな変動が見られません。英語科が体系的に授業を行っている証といえるのではないのでしょうか。

学習だより

教務部

令和元年がスタートし、1ヶ月が経過しました。6月には、前期中間考査が行われました。1年生は、高校生として初めて挑んだ考査となり、3年生にとっては、進路実現を控えた大事な考査となりました。この考査にむけて、皆さんの皆さんはどのように取り組みましたか。各自がしっかりと結果を振り返り、課題をみつけて次回の考査に生かしましょう！！

以下のデータは平成31年3月8日に1年生(現2年生)で実施した「北海道高等学校学習状況調査」の一部です。データを参考に現在の高校生活に役立ててほしいと思います。

1 本校生徒の学習及び家庭学習時間等の状況 ※()はH29年・現3年生

(1) 学前との意欲の変化

	学習意欲が高まった	学校の授業以外で学習する時間が増えた	諸外国の人々と交流したり異なる文化や生活習慣などを知らうとする意欲が高まった	卒業後の進路についてより真剣に考えるようになった
本校	62.1% (60.5%)	54.4% (47.6%)	44.9% (39.5%)	87.3% (89.9%)
全道	67.2% (65.7%)	57.3% (56.5%)	50.3% (47.0%)	92.5% (92.4%)

※値は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」回答した割合の和である。

(2) 各教科の状況

① 勉強が好き ※値は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の和である

	国語の勉強が好きだ	数学の勉強が好きだ	英語の勉強が好きだ	地歴公民の勉強が好きだ	理科の勉強が好きだ	専門の勉強が好きだ
本校	52.3% (54.2%)	34.0% (47.9%)	54.0% (37.4%)	56.9% (63.7%)	55.8% (51.7%)	*** **
全道	56.8% (54.5%)	52.0% (50.6%)	52.9% (50.4%)	58.8% (58.6%)	55.7% (54.0%)	75.7% (72.9%)

② 授業内容がよくわかる

※値は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合の和である

	国語の授業内容がよくわかる	数学の授業内容がよくわかる	英語の授業内容がよくわかる	地歴公民の授業内容がよくわかる	理科の授業内容がよくわかる	専門の授業内容がよくわかる
本校	76.7% (70.9%)	41.7% (66.1%)	67.5% (54.2%)	77.0% (75.2%)	66.4% (58.4%)	*** **
全道	76.8% (74.1%)	65.8% (63.5%)	64.3% (61.1%)	69.2% (67.1%)	61.3% (59.6%)	78.5% (76.4%)

本校生徒の入学前との意欲の変化について、「学校の授業以外で学習する時間が増えた」と回答している生徒が増加しています。しかし、「卒業後の進路についてより真剣に考えるようになった」と回答した生徒は減少しています。

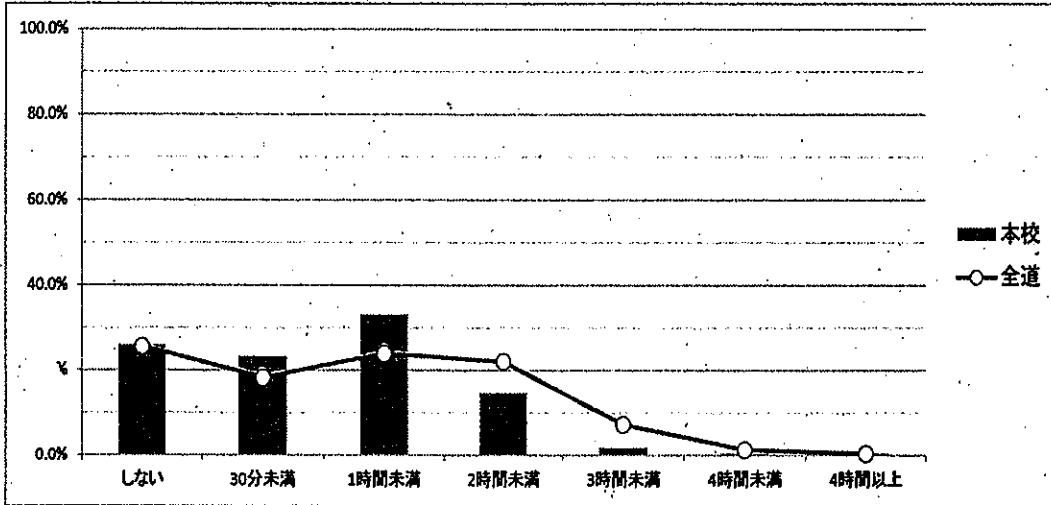
また、各教科の状況については、「教科の勉強が好き」と回答している生徒は、「英語」、「理科」において全道平均より多くなっており、「授業内容がよくわかる」と回答している生徒は、「地歴・公民」、「理科」、「英語」、「国語」において全道平均より多くなっており、



(3)本校生徒の家庭学習時間

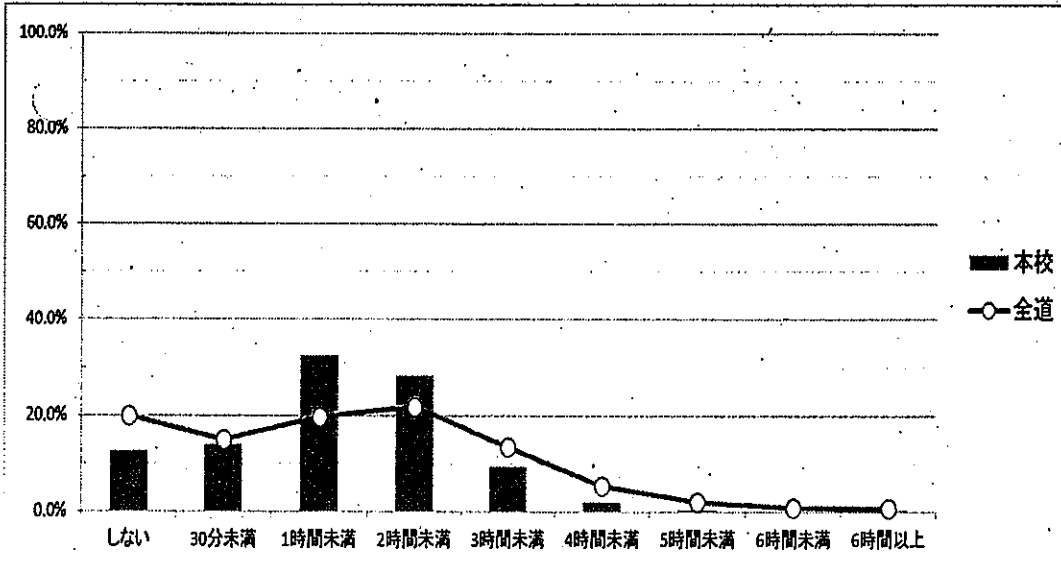
(1) 平日の家庭学習時間

	まったく、 ほとんど しない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上
本校	26.1% (32.2%)	23.3% (23.1%)	33.2% (25.2%)	14.8% (16.1%)	1.8% (2.1%)	0.4% (0.7%)	0.4% (0.7%)
全道	25.8% (26.7%)	18.4% (18.4%)	24.1% (22.9%)	22.2% (22.4%)	7.4% (7.8%)	1.4% (1.4%)	0.5% (0.4%)



(1) 休日（長期休業中以外）の家庭学習時間

	まったく、 ほとんど しない	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 2時間未満	2時間以上 3時間未満	3時間以上 4時間未満	4時間以上 5時間未満	5時間以上 6時間未満	6時間以上
本校	12.7% (18.5%)	14.1% (19.6%)	32.5% (24.5%)	28.3% (21.7%)	9.5% (11.2%)	2.1% (2.1%)	0.4% (1.4%)	0.0% (0.3%)	0.4% (0.7%)
全道	20.0% (20.8%)	15.1% (15.2%)	19.9% (18.9%)	22.0% (22.1%)	13.6% (13.5%)	5.5% (5.6%)	2.2% (2.3%)	0.9% (0.9%)	0.8% (0.7%)



本校生徒の平日の家庭学習時間は、全道の高校生と比較して「30分以上1時間未満」勉強する人は多いものの、1時間以上勉強する人は圧倒的に少ない状況にあります。

休日の家庭学習時間は、「30分以上1時間未満」が最も多くなっており、次いで「1時間以上2時間未満」の生徒が多く、合わせて60.8%を占めています。また「まったく、ほとんどしない」生徒の割合も減少しており、全道平均を7.3ポイント下回っています。長時間の勉強とはならないものの家庭学習時間は増加しており家庭学習が定着しつつあると考えられます。

人はなぜ学ばなければならないのでしょうか？

「勉学は光であり、無学は闇である。」

偉大な哲学者であるソクラテスの言葉です。